家庭数配布

高川小だより

令和８年（2026 年）10 月 14 日
発行者：校長

高川小ＨＰはこちら➡

全国学力・学習状況調査と大阪府すくすくテストの結果について

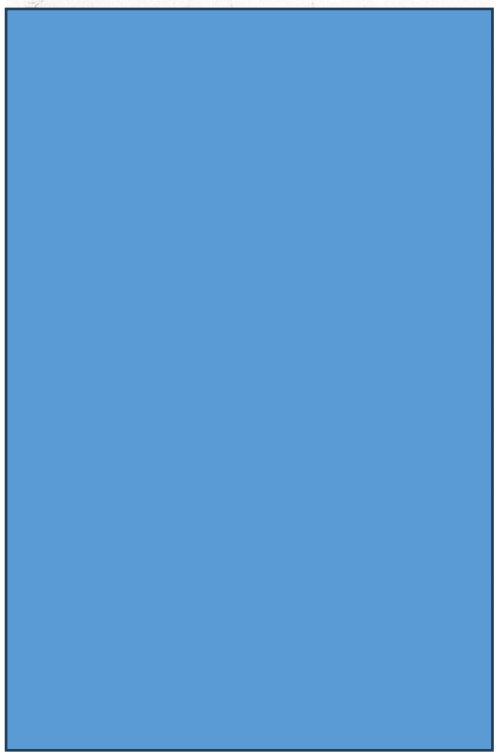
【全国学力･学習状況調査】

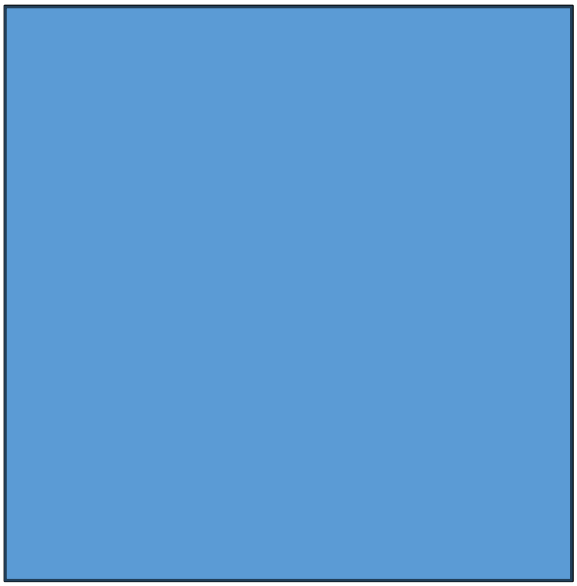
6年生対象で 4 月 23 日に実施され、7 月に結果が公表されました。本校の結果内容と課題について以下にお知らせいたします。このテストの結果に一喜一憂するのではなく、自分の課題をはっきりさせ、残りの小学校生活でどのような力をつけて、中学に向けてがんばっていくべきかを考えてほしいと思います。ただし、この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、児童の学習状況、教育活動のすべてを表すものではありません。それを踏まえた上で、学校と家庭･地域が課題を共有し、連携を深めて取り組んでいくことを目的として、お知らせいたします。

個人差はありますが、全体的に国語･算数ともに基礎･基本はできていますが、以下に課題がみられました。

国語･･･無回答が多く、途中で諦めてしまっている傾向があります。
内容については、情報の扱い方に関する内容や、書くことが苦手です。
また、下の問題のようにうに、文章を読みとり、何が条件として設定されているのか判断して、必要な言葉を組み合わせて文章を作成して解答することが苦手な人が多かったです。

算数･･･計算問題として出題されれば答えられるが、文章や図を読みとって、必要な数値を抜き出したり、正しい計算方法を考えたりするのが苦手な人が多かったです。
また、下のような前半･後半にそれぞれ2つずつ遊びがある、前半･後半の遊びごとの人数（複合表）を読み取るのが苦手な人が多かったです。





このほか、児童質問の結果では、ご家庭で安心できる環境をつくっていただいていることがよくわかりました。また、困った時に学校やご家庭など、相談できる大人が多いと感じていたり、学校でも安心できると感じていることがわかりました。

・学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。
肯定的回答が 54%（大阪府 40. 2%、全国 35.5%）
・学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。
肯定的回答が 83.7%（大阪府 74.3%　全国 75.0%）
・あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）
肯定的回答が 54.0%（大阪府 35.5%　全国 33.8%）
・困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
肯定的回答が 81.1%（大阪府 76.0　全国 70.6%）
・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。
肯定的回答が 81.1%（大阪府 73.9%　全国 69.6%）

一方で、以下の4点が気になりました。

・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
肯定的回答が 8.1%（大阪府 23.1%　全国 21.6%）
・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか
肯定的回答が 56.7%（大阪府 76.3%　全国 77.6%）
・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか
肯定的回答が 59.4%（大阪府 78.7%　全国 78.4%）
・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか
肯定的回答が 67.5%（大阪府 79.8%　全国 80.8%）

※肯定的回答・・・（①あてはまる②どちらかといえば、あてはまる）

これは、毎日の学習を興味をもって取り組んでいるというより、「やらなければならないもの」と受け止めて学習しているのではないかと思います。
“やらされて”勉強したことはすぐに忘れてしまい、なかなか定着はしません。でも、自分が“知りたい”、“できるようになりたい”と思って取り組んだことは、時間をかけて取り組むため、しっかりと理解できます。
学校でも主体的な学びを念頭に、考え、議論する授業を心がけたり、授業で学んだことを実生活と結び付けて考えたり生かしたりできるようにしていきますので、ご家庭でも子どもたちが、どんなことに興味を持っているのか、それを自分でどのように深めていくか、子どもたちと話しながら子どもたちのやる気を伸ばしていっていただきたいと思います。

【大阪府小学生すくすくテスト】

　全国学力・学習状況調査と同日の、4 月 23 日に 5 年生・6 年生を対象に実施されました。本校の結果分析と課題について以下にお知らせいたします。
　大阪府が実施したこの「すくすくテスト」とは、子どもたち一人ひとりが学びの基盤となる言語能力や、読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目標に実施されました。自分の学びをふりかえり、自らの強みや弱みなどを知って、新たな目標を立て、強みを伸ばすことや課題を克服することなどに取り組んでほしいと思います。

【6 年生】
〇理科
　太陽の通る方角や、昆虫のからだのつくり、液体・気体・個体の三体変化、電気と磁石についてが、苦手でした。

〇わくわく問題（教科横断型問題）について
　基本的な知識・技能はおおむね定着しており、学習した内容をそのまま活用する問題については対応できています。
　一方で、条件を整理して考える問題や、根拠を明確にして伝えることや、特に複数の文章や会話、図や表から情報を読み取り、問われている内容を把握し、読み取った情報を整理して伝える、といった一連の問題に課題が見られます。

【5 年生】
　課題が見られる問題
〇国語
　①漢字 「機会」と「機械」を正しく書く問題
　②「行った」を「行われた」と正しく直す問題
　③元の文と意味が変わらないように1つの文に書き直す問題

〇算数
　①「2時に集合」「目的地まで20分かかる」「5分前に集合」の3つの会話文から、
　　出発時刻を考える問題
　②棒グラフから、気温が高くなるとアイスクリームよりかき氷を食べたい人が増えることを読み
　　取る問題
　③牛の数□と1日にとれる牛乳の量△の比例関係の表をみて、□と△の関係を式にする問題

〇理科について
　①昆虫のからだのつくりに関する問題
　②乾電池の直列つなぎと並列つなぎの特徴を問う問題
　③銅の性質「銅は電気を通すが、磁石にはつかない」を「電気」「磁石」と言う言葉を使って答える
　問題

〇わくわく問題（教科横断型問題）について
　①条件に合わせて4種類の接着剤をどのような場面で使えばよいか答える問題
　②デジタル観光案内地図についての会話文5つと、それを整理した図をもとに、
　　お勧めのお店の表示は、①地図②一覧表③両方　の中から最もふさわしいものを選ぶ問題
　③2 つの昨年度の振り返りの資料を参考に、今年度に追加された活動を2つ選ぶ問題

★苦手な分野を伸ばすために

・大人が転ばぬ先の杖を出さず、失敗しても子どもたちを見守ることで、子ども自身が課題から自分で解決方法を模索し、解決していく経験を積ませること

・単に文章を読むのではなく、複数の文章や資料と比較したり、わかりやすく要約したり、自分で工夫する経験を積むこと

・日頃から実生活に関わる数学的・科学的な話題を家庭や学校で出すこと

これらの経験を学校や家庭、地域で子どもたちに積ませていき、苦手が得意に変わっていくといいですね